

## ビアロ専用下地シート 施工要領書

### 準備

- ビアロ専用下地シートは、通常のビニールクロスとは逆巻きになっておりますので、糊付け機にセットする際には、逆向きにセットしザラザラ面に糊を塗布して下さい。ツルツル面が表です。
- 下地の汚れやホコリなどは取り除いてください。
- 石膏ボードなどの継ぎ目の部分にはパテ処理を施してください。ビス止め部分もすべてパテ処理を施してください。（下パテと仕上げパテの2回施してください。）  
パテ処理の際、ビスや釘には錆止めを塗るか、ステンレス製のものを使用してください。  
また、パテが完全に乾いた後、パテ用ペーパーで平滑にしてください。

### 施工

- 石膏ボードなどの下地材にビアロ専用下地シートを、全面むらなく貼り付けてください。
- <入隅部>
  - 入隅部は、廻し貼り・カットどちらでも構いません。（現場監督様とご相談下さい。）
  - カットの場合は、あらかじめボンドコークを入れておいてください。
- <出隅部>
  - 出隅部は、廻し貼りにしてください。
- <ジョイント部>
  - ジョイント部は突き付け貼りもしくはジョイント工法のどちらでも構いません。  
突き付け張りの場合は、シートとシートに隙間があかないように注意してください。  
ジョイント工法の場合は、下地ボードを切らないよう必ず「下敷きテープ」を使用してください。  
どちらの場合もジョイント部は、目地用ローラーでよく押さえて、ジョイント部の接着力を高めてください。
- <平面部>
  - ビアロ専用下地シートのジョイント部は、下地石膏ボードなどの継ぎ目やパテ処理部と重ならないよう、10cm以上離してください。
  - 全体の圧着には、クロス専用のハケペラを使用し、最後にスムーザーを使い、絶対に空気が残らないようにしてください。空気が残ったまま塗材を施工すると、後にひび割れや膨らみのクレームの原因となります。
  - 真壁の場合は特に、経年後、チリ際がすいたり、ビアロ専用下地シートが反らないようにチリ際や端部はしっかりと糊をつけて、ローラーなどで押さえ、接着力を高めてください。（ビアロ専用下地シート施工後に、ボンドコークを入れておくのも効果的です。）\*粹廻り、廻り縁、巾木なども同様です。

### 施工上の注意事項

- 貼り付け時に空気や塵などが入らないように注意してください。
- パテ部分を平滑にして、粉も完全に取り除いてください。
- 糊を希釈するときは、クロスを貼る場合より、若干濃い目にしてください。
- 糊は糊付け機を使い、クロスを貼る場合より、若干多めにつけてください。
- 糊付け後のオープンタイムは、夏場 10 分、冬場 15 分程度を目安として、現場状況に合わせて調整してください。
- 下地がモルタル、珪カル板、コンパネなどの場合は、適切なシーラー（アク止めシーラーとシーラーバインダー等）を塗布してください。
- 貼り付け後、中 1 日程度養生期間をもうけ、糊が完全に乾いたこと、また、空気の入っている箇所がないかを確認してください。
- リフォーム工事の場合、既設のビニールクロス剥がすと、クロス裏紙が残ることがあります。石膏ボードなどの下地にしっかりと付着している裏紙はそのままでもいいですが、裏紙が浮いていたり、剥がれたところがあれば全て除去して下さい。ヤヨイ化学のクロス用トルトールを使うとめくり易いです。

### パテ・糊

- パテはビニールクロスを貼る際に使用するものと同等品で構いません。
- テンブン系水溶性糊
- ルーアマイルド、ウォールボンド 100・200（ゼロホルマリン）など

\*施工要領の詳細に関しましては、弊社ホームページ（<http://viaro.jp/>）をご覧ください。

